

令和6年3月1日

「未来をつくる高校生チャレンジ2024」運營業務企画提案公募に
関する質問の回答について

(1) 今年度の応募状況及び応募の目標数値があれば教えてください。

答 今年度は30件の応募がありました。応募の目標数値は45件程度です。

(2) 今年度の募集に関しての手段を教えてください（チラシやポスターをどのように何部配布したかなど）

答 県立高校や市町村、図書館等、約440か所にチラシ・ポスターを送付しています。

(3) 来年度、チラシを配布する場合、福岡県等を通じて全高校に配布することは可能でしょうか。可能な場合、費用が必要であれば概算予算を教えてください。

答 県を通じて全高校にチラシを配布する予定ですので、費用に含めなくて構いません。

(4) 昨年度の審査会について、実施概要を教えてください（場所、時間、参加組数、審査員など）

答 以下のとおりです。

場所 福岡県中小企業振興センター4階 403会議室

時間 令和5年6月25日（日） 9時30分～17時00分

参加組数 19組

審査員 5名（県民会議1名、県職員2名、外部有識者2名）

(5) 昨年度の交流会について、実施されていた場合、概要を教えてください（場所、時間、参加組数、ゲストなど）

答 交流会は、来年度初めて実施します。

交流会のイメージとしては、事業の説明会と併せて実施し、採択された高校生同士の顔合わせや情報交換等を目的に、2～3時間程度実施できればと考えております。

ゲストを呼ぶことについては想定しておりません。

(6) チャレンジプランは、実施期間中にどの程度まで変化を許されるものですか。これまでの実績等を踏まえて、もしご見解がありましたらご教示ください。

答 当初の計画通りにいかないことも含めてチャレンジであると考えているため、変化を制限することはありません。チャレンジプランによって異なり、当初の予定通りにいくものもあれば、異なるものになる場合もあります。これまでは応募時のテーマや思いに沿って、チャレンジサポーターと相談しながらプランを形にしています。

(7) 第一次選考の書類審査では、可否の判断は誰が実施する想定でしょうか。受託者にて書類内容を精査して主催者に報告のうえ決定するのか、それとも審査委員が決定するのでしょうか。

答 一次選考の審査は、県民会議で実施し可否を判断します。

(8) チャレンジサポーターへの謝礼は、規程で定める以外の対価を支払うことはできませんでしょうか。チャレンジャーのため以外にも、事務局とのやりとりなどで稼働が発生した場合に、その対価について所定の謝金ではなく、たとえば受託者からの支払いで処理できれば、チャレンジサポーターの方に業務を依頼しやすいと考えます。

答 チャレンジサポーターには、規程以外の対価を払うことを想定していませんが、受託者に対する委託料の中で支払いすることは妨げません。

(9) 前年度は9件のチャレンジが採用されているようですが、チャレンジの最大件数はどのくらいを想定しておけばよいでしょうか？また、6件を下回る採用も想定しうるでしょうか？

答 採択数は6件程度としておりますが、6件を下回る想定はしていません。なお、補助金予算300万円（1件当たり上限50万円）の範囲内で採択するため、提案額次第で6件を超える場合があります。

(10) 「未来をつくる高校生チャレンジサポーター実施要領」、「未来をつくる高校生チャレンジ補助金交付要綱」、「未来をつくる高校生チャレンジサポーター委嘱及び派遣実施細則」の記載内容については、確定したものと考えてよいでしょうか。それとも、受託決定後に、事務局内で相談のうえ、改定を提案することは可能でしょうか。

答 今年度の資料のため、確定したものではありません。受託決定後に相談は可能です。

(11) チャレンジプランへの応募方法や必要書類は、確定しているのでしょうか。最初の応募の時点で、事業計画、収支予算、保護者同意などの必要書類をとりそろえてそれを郵送もしくは持参するという条件がエントリーにとって障害にならないかを懸念しており、一次選考のエントリーは電子上で行い、二次プレゼンテーション審査に進んだ候補者について各種書類を持参してもらうことができますか。

答 来年度の募集要項について現在精査しているため、確定しているものではありません。

応募は県民会議ホームページ（現在リニューアル作業中）から電子申請による実施することを検討しています。事業計画、収支予算は一次審査で必要となる書類です。また、二次審査からの辞退を防ぐため、保護者同意を得た方のみを審査対象とする予定です。

(12) 再委託割合について規制はございますか。

答 明確な規制はありませんが、契約締結までの協議において、どの範囲の業務を再委託するかをお知らせいただき、これを超える再委託は禁止する方針です。完全に業務全体を再委託する場合には、契約締結に至らない場合がございます。

(13) 前回(今年度)のチャレンジサポーターの稼働イメージについて、可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。(例:月に1回程度打ち合わせ、等)。

答 令和5年度のチャレンジサポーターの稼働実績は、平均月2～3回程度でした。稼働実績例としては、対面によるイベント等の打ち合わせ1回、オンラインによるアドバイス1回。

(14) 前回(今年度)の2次審査における審査員の3名はどなたかご教示いただけますでしょうか。

答 (4) 記載のとおりです。謝金・旅費が発生する外部審査員は2名でした。

(15) 高校生チャレンジャーの応募時の申請書類について、ネットでの提出に変更することは可能でしょうか。

答 (11) 記載のとおりです。